



着任の御挨拶

5月27日、大使として着任致しました山田淳(やまだ・じゅん)です。アルメニアを訪れるのは22年ぶりとなりますが、この国の人々が誇る長い歴史と洗練された文化には常に魅了されてきました。今回あらためて日本とアルメニアの橋渡しを担う立場となったことは、私にとり大変な名誉かつ幸運であると思っております。

昨年、両国は外交関係開設25周年の節目を迎えましたが、エレヴァンにおける大使館の活動も既に3年を越え、また日アルメニア投資協定も遠からず発効することが期待される等、二国間関係は今大きな飛躍に向けた節目に差し掛かっています。

日本とアルメニアの間には色々な面で共通点があると思いますが、最初から与えられた資産に依存することなく、国民自身が自ら切磋琢磨し新たな価値を創り出す点こそは最も重要かつ普遍的な意義を有する資質ではないでしょうか。

今日の世界は、正にアルメニアの人々が最もその才能を開花させているIT技術の躍進によって急速に小さなものとなってきており、最終的にはあらゆる国々・人々が「隣人」同士となるに至るでしょう。そうした日が来ることを見据え、アルメニアと日本の人々が一歩先んじて世界中でも最も親密な間柄となっていることを日々目指したいと考えます。

アルメニアの皆様、そしてこの国と緊密に関わっておられる日本の皆様より、今後とも率直な御意見と御指導を当大使館に賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

2018年5月27日

山田 淳